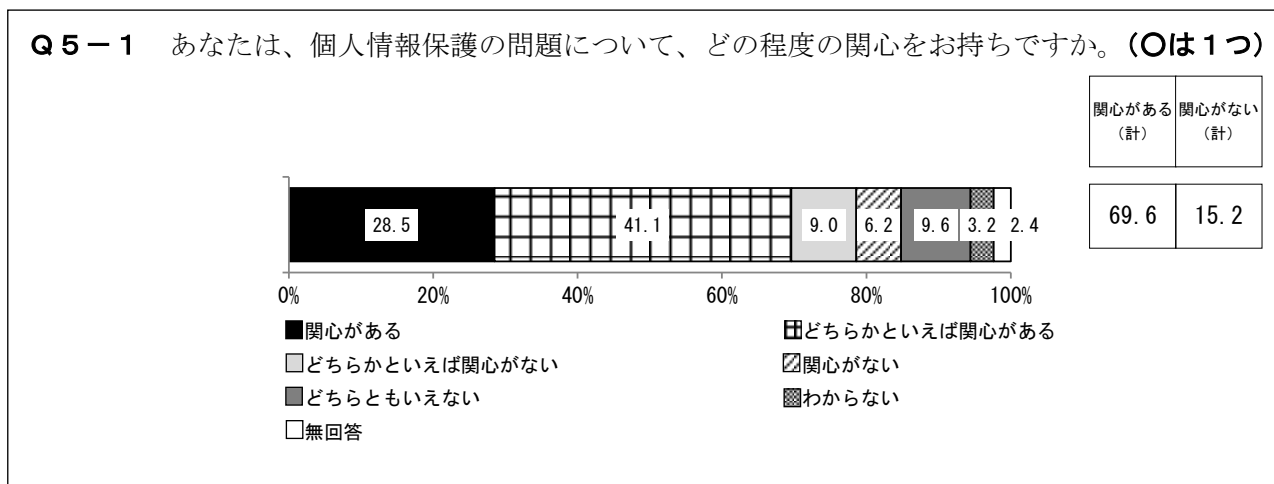


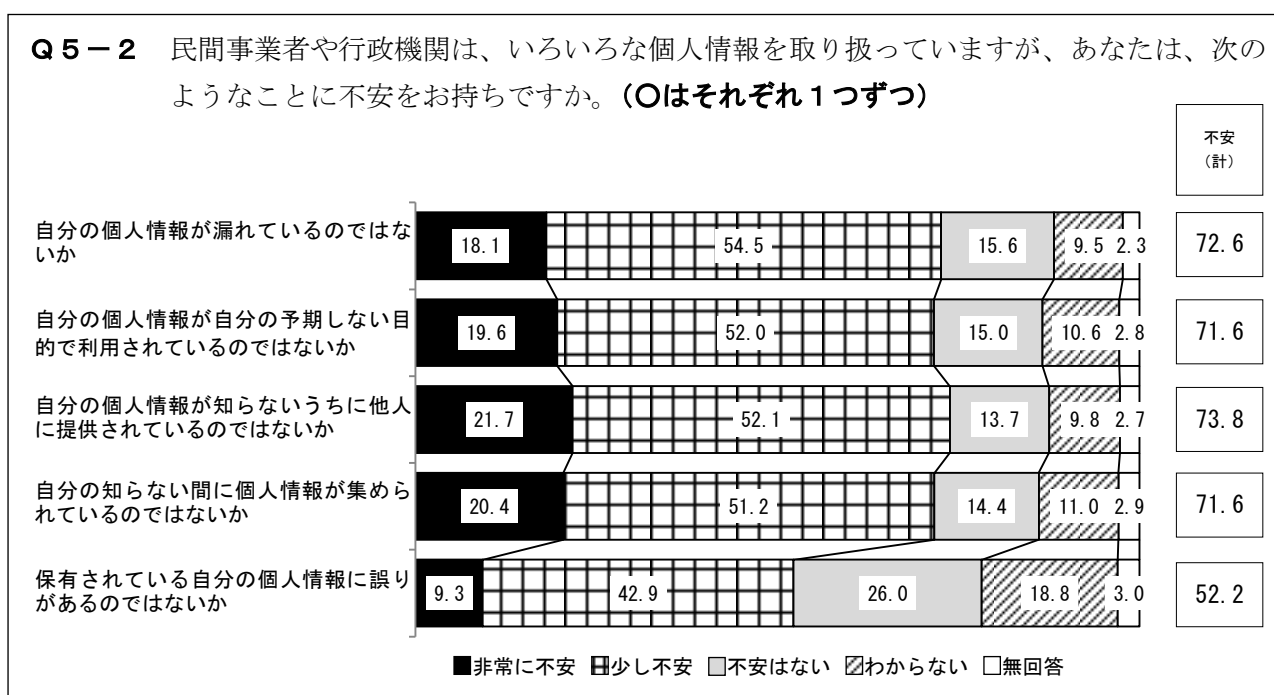
## 5. 個人情報保護

### 5-1. 個人情報保護の問題への関心



個人情報保護の問題への関心について、「関心がある」と「どちらかといえば関心がある」を合わせた『関心がある (計)』は69.6%、「関心がない」と「どちらかといえば関心がない」を合わせた『関心がない (計)』は15.2%となっている。

### 5-2. 個人情報に対する不安

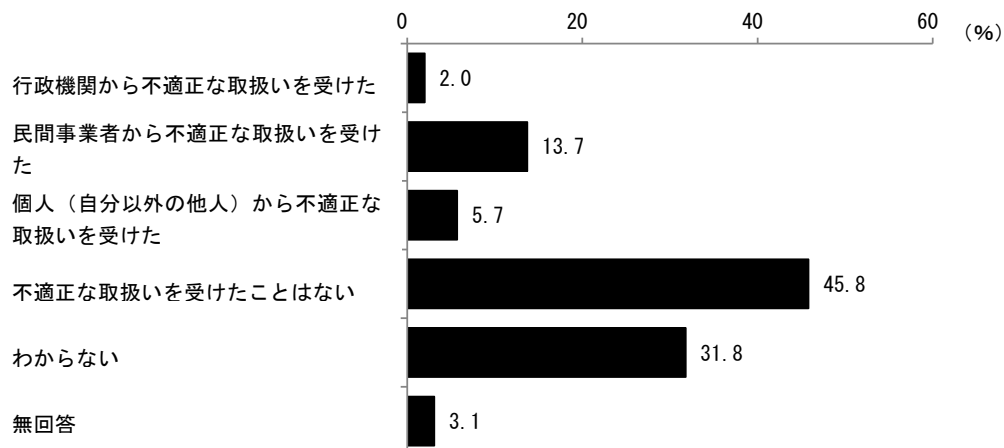


個人情報に対する不安について、「非常に不安」と「少し不安」を合わせた『不安 (計)』は「自分の個人情報が知らないうちに他人に提供されているのではないか」が73.8%と最も高く、次いで「自分の個人情報が漏れているのではないか」(72.6%)、「自分の知らない間に個人情報が集められているのではないか」(71.6%)、「自分の個人情報が自分の予期しない目的で利用されているのではないか」(71.6%) がそれぞれ7割台と高くなっている。

## 5-3. 個人情報を不適正に取り扱われた経験の有無

**Q5-3** あなたは、最近、自分の個人情報が漏れた、同意していないのに他人に提供されたといったように、自分の個人情報を不適正に取り扱われたと感じたことはありますか。

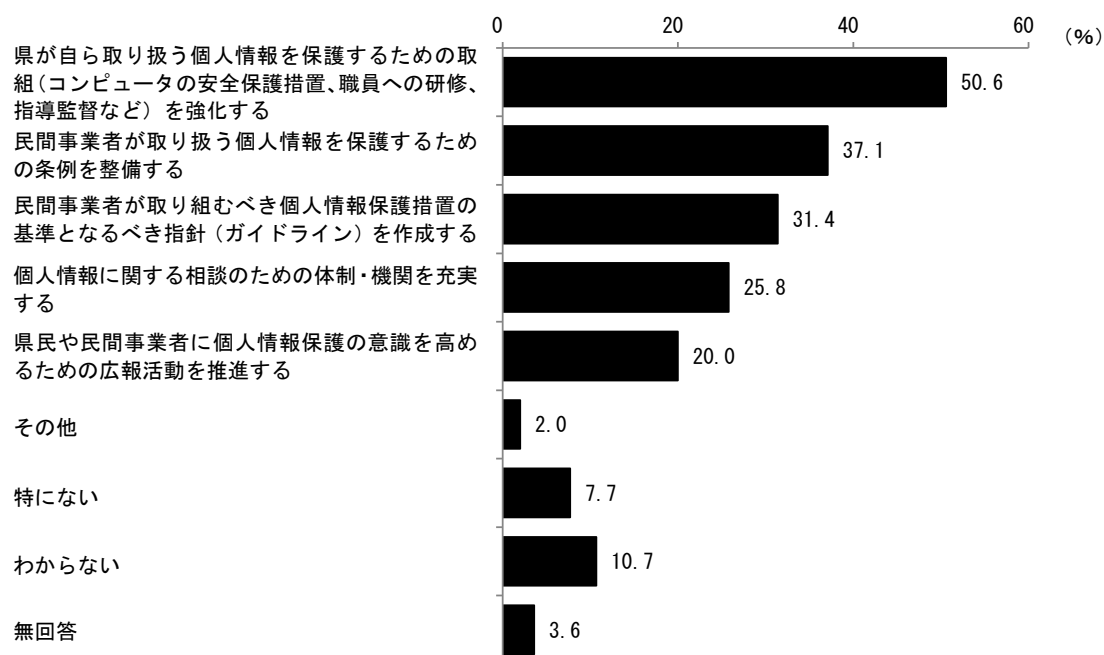
(〇はいくつでも)



個人情報を不適正に取り扱われた経験の有無について、「不適正な取扱いを受けたことはない」が45.8%と最も多いが、不適正な取扱いを受けたと感じたという回答としては、「民間事業者から不適正な取扱いを受けた」は13.7%、「個人（自分以外の他人）から不適正な取扱いを受けた」が5.7%、「行政機関から不適正な取扱いを受けた」は2.0%となっている。

## 5-4. 今後、県が取り組むべき個人情報保護対策

Q5-4 あなたは、今後、県が取り組むべき個人情報保護対策として、どのようなことに力を入れていけばよいと思いますか。(〇はいくつでも)



今後、県が取り組むべき個人情報保護対策について、「県が自ら取り扱う個人情報を保護するための取組(コンピュータの安全保護措置、職員への研修、指導監督など)を強化する」が50.6%と最も高く、次いで「民間事業者が取り扱う個人情報を保護するための条例を整備する」(37.1%)、「民間事業者が取り組むべき個人情報保護措置の基準となるべき指針(ガイドライン)を作成する」(31.4%)などの順となっている。